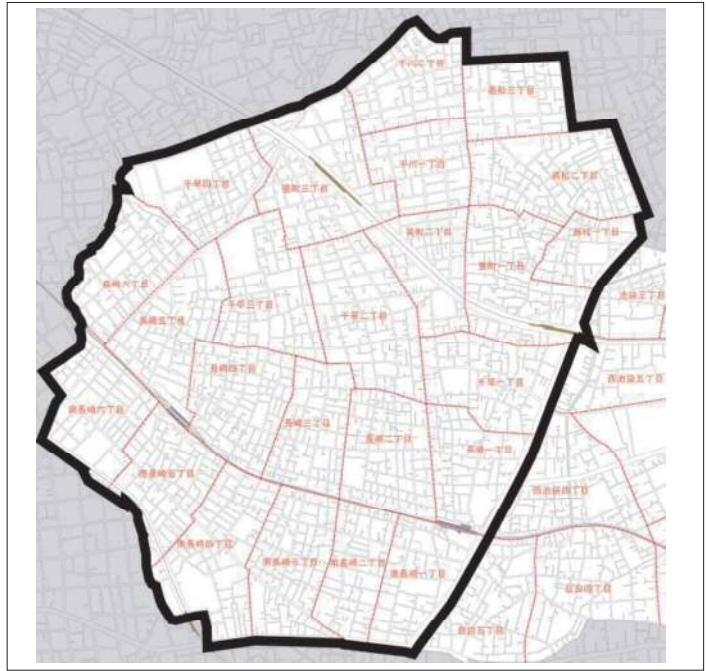


西部地域 [南長崎、長崎、千早、要町、高松、千川]

西部地域は、人口約7万4千人、約4万3千世帯が暮らす地域です。5つの地域のなかでは、南部地域に次いでファミリー世帯の構成が高い地域となっています。また、大正から昭和初期に広い範囲で耕地整理が行われたため、地域の大部分には碁盤の目状に道路が走っています。近年は中高層のマンションが増えつつあります。

この地域には、有楽町線・副都心線の要町駅と千川駅、西武池袋線の椎名町駅と東長崎駅、地下鉄大江戸線の落合南長崎駅があります。平成24年には、椎名町駅で自由通路や駅前広場、椎名橋下の広場が完成し、自由通路において地域の文化資産紹介や駅から地域情報を発信するまちづくりを展開しています。長崎、千早、要町などの旧長崎町地区は、江戸の近郊農村として栄え、五穀豊穰悪疫退散を願う長崎神社の長崎獅子舞、富士元囃子、地元の富士講組織により造られた浅間神社の豊島長崎の富士塚などの貴重な文化財が今に伝えられています。また、大正末から昭和初期にかけ、多数のアトリエ付き借家群が建てられ、若い画家や詩人らが住み、創作活動に切磋琢磨する「アトリエ村」が形成され、西池袋地域を含む一帯が「池袋モンパルナス」と称されることもありました。昭和60年に私設美術館として千早の熊谷守一旧宅に建てられた「熊谷守一美術館」を、平成19年度に区立美術館とし、地域の歴史を受け継いでいくことにしました。同じ千早の地には、マンガの鉄人横山光輝が45年間住み、多くの名作マンガを創作しました。そして、南長崎（旧椎名町）には、手塚治虫をはじめ、日本マンガ史にその名を刻む多くのマンガ家たちが若き青春の日々を過ごした「トキワ荘」がかつてあり、「マンガ文化発祥の地」として語り継がれています。平成25年にまちを訪れる方のために「トキワ荘通りお休み処」を開設したほか、マンガ文化を次世代に受け継ぎ「マンガの聖地としま」の情報発信を行う拠点として、（仮称）マンガの聖地としまミュージアム【トキワ荘復元施設】の整備を推進していきます。

平成27年4月には南長崎地区が不燃化特区として追加指定を受けました。また平成27年10月には凍結中の（仮称）西部地域複合施設建設予定地に西部区民事務所等のプレハブ庁舎とグラウンドを整備し、旧体育館は千早地域文化創造館の多目的ホールとして使用を再開しました。平成29年度には、旧千川小学校体育館を、地域コミュニティの醸成や青少年育成を目的とした新たな施設として開設しました。また、長崎健康相談所の改築設計を進め、平成33年度に児童相談所等との複合施設を整備します。

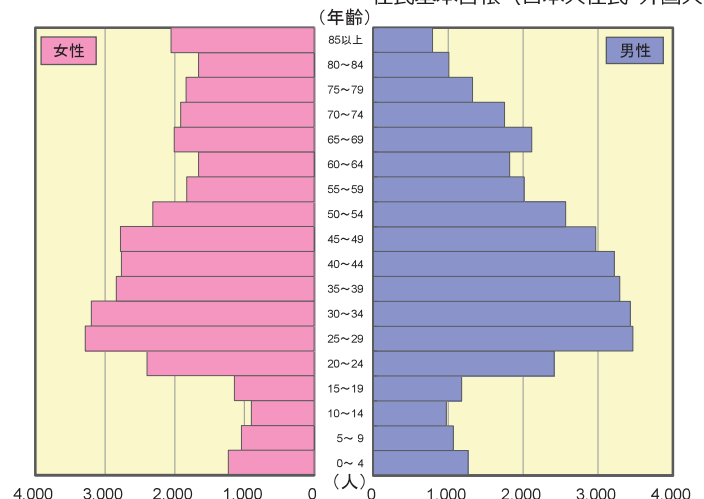


1	面積	336.9 ha
2	人口	73,541 人
3	人口密度	218 人/ha
4	14歳以下の人口の割合	8.8 %
5	65歳以上の人口の割合	22.4 %
6	外国人人口の割合	5.1 %
7	一般世帯数	43,117 世帯
8	ファミリー世帯の割合	22.8 %
9	単独世帯の割合	61.3 %
10	建築物の耐火率	57.5 %
11	一人あたりの公園面積	0.80 ㎡
12	緑被率	12.0 %

- 【2～6】 住民基本台帳[日本人住民及び外国人住民]（平成30年1月）
- 【7～9】 国勢調査（平成27年）
- 【10】 土地利用現況調査（平成23年）
- 【11】 公園・児童遊園現況一覧（平成29年4月）
- 住民基本台帳[日本人住民及び外国人住民]（平成30年1月）
- 【12】 緑被現況調査（平成28年）

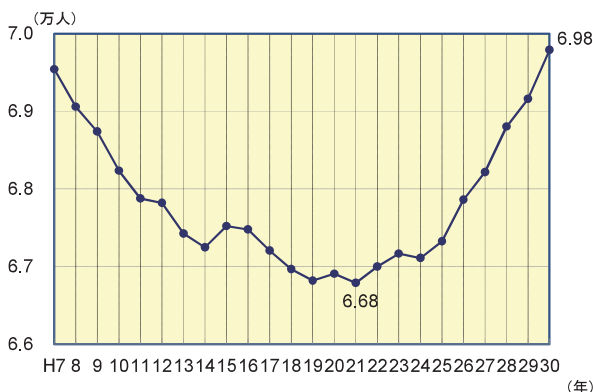
人口の年齢構成（平成30年1月）

住民基本台帳（日本人住民・外国人住民）



人口の推移

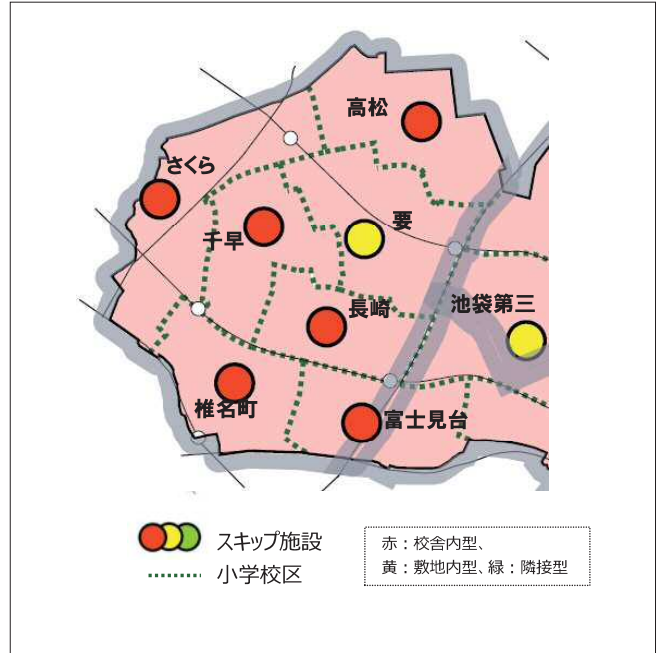
※人口は日本人住民のみの数



地域区民ひろばの展開状況

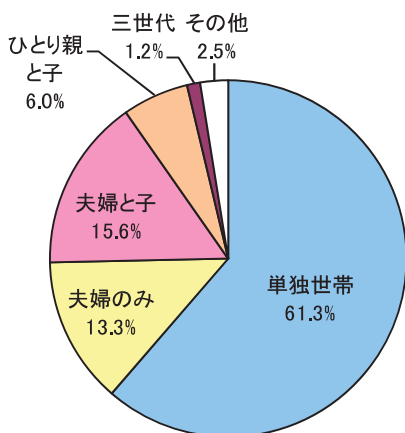


子どもスキップの展開状況



世帯の状況 (平成 27 年 10 月)

国勢調査

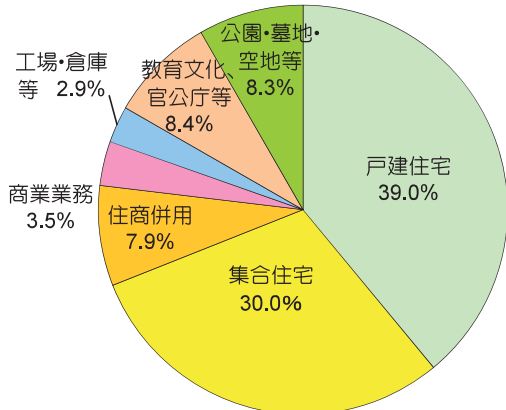


救援センターと対象区域



土地利用の状況 (平成 23 年)

土地利用現況調査 (豊島区)



用途別・建物床面積の変化

用途別構造別土地利用データ (東京都主税局資料)

